主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）４級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表を完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。

２．試験時間は２０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

代表者名	料金単価	人数
小池　学	22,700	2
星野　愛子	15,400	5
東　正樹	13,900	3
小川　勇気	19,600	3
和田　清	10,300	4
森　ハルナ	13,100	5
内村　誠	20,500	2
鈴木　りえ	19,800	4

＜処理条件＞

１．＜出力形式＞のような請求金額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）

２．宿泊料金＝料金単価×人数
　　サービス料＝宿泊料金×10%
　　請求金額＝宿泊料金＋サービス料

３．合計・平均（整数未満四捨五入の表示）を求めなさい。

４．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

＜出力形式＞

請　求　金　額　一　覧　表

代表者名	料金単価	人数	宿泊料金	サービス料	請求金額
合　計	―――				
平　均	―――				

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）３級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表を完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。

２．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

ＣＯ	社員名	予定数	完成数
101	川口　洋子	2,892	2,761
102	石井　進一	2,900	2,695
103	東　めぐみ	3,024	2,813
104	近藤　三郎	3,196	3,017
105	久保山　昇	2,731	2,580
106	森口　春香	3,215	3,112
107	関　ヒカリ	2,648	2,516
108	小野寺　豊	3,327	3,204
109	杉山　正信	2,589	2,531

＜単価表＞

完成指数	単価
96 以上	130
それ以外	120

＜処理条件＞

１．＜出力形式＞のような出来高給一覧表を作成しなさい。（ —— の部分は空白とする）

２．完成指数＝完成数÷予定数×100（整数未満切り上げ）

３．単価は＜単価表＞を参照し、求めなさい。
　　出来高給＝単価×完成数
　　技能手当＝出来高給×5%×完成指数÷100（整数未満切り捨て）
　　支給総額＝出来高給＋技能手当

４．合計・平均（整数未満四捨五入の表示）・最大を求めなさい。

５．構成比率＝支給総額÷支給総額の合計（%の小数第１位未満四捨五入の表示）

６．技能手当の降順に並べ替えなさい。

７．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

＜出力形式＞

出　来　高　給　一　覧　表

ＣＯ	社員名	予定数	完成数	完成指数	単価	出来高給	技能手当	支給総額	構成比率

（　途　中　省　略　）

——	合　計			——	——				——
——	平　均			——	——				——
——	最　大			——	——				——

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）準２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

会ＣＯ	会社名	商ＣＯ	日数
11	たから堂	102	11
12	青山食品	101	13
13	森下商事	103	16
14	サンセイ	101	12
15	ＹＫ工業	104	14
16	佐野水産	102	15
17	飯田商店	104	10
18	安川建設	103	17

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品名	単価
101	商品Ｅ	31,250
102	商品Ｆ	23,160
103	商品Ｇ	27,830
104	商品Ｈ	21,470

＜割引額の計算式＞

日数	割引額
14未満	830×日数
それ以外	970×日数

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のようなレンタル料金請求額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
２．商品名・単価は＜商品テーブル＞を表検索しなさい。
３．レンタル料金＝単価×日数
　　補償料＝レンタル料金×3.8%（整数未満切り上げ）
４．割引額は＜割引額の計算式＞を参照し、求めなさい。
　　請求額＝レンタル料金＋補償料－割引額
５．日数が 13 未満または請求額が 350,000 以下に“＊”、それ以外に“＊＊”の判定をしなさい。
６．合計を求めなさい。
７．割引額の昇順に並べ替えなさい。
８．レンタル料金請求額一覧表の単価のセル証明をしなさい。
９．＜出力形式２＞のような処理をしなさい。すべて￥表示とする。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
10．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
11．レンタル料金請求額一覧表の請求額の値を会社名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“会社別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

＜出力形式１＞

レンタル料金請求額一覧表

会ＣＯ	会社名	商ＣＯ	商品名	単価	日数	レンタル料金	補償料	割引額	請求額	判定

（　途　中　省　略　）

――	合　計	――	――	――						――

＜出力形式２＞

	レンタル料金	補償料	請求額
平　均			
最　大			
最　小			

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

製品Ａ

ＣＯ	依頼先名	依頼数	完成数
101	秋山金属	7,024	6,603
102	星製作所	6,036	5,840
103	サノ工業	8,293	8,017
104	ＳＫ産業	6,148	5,981
105	関西製作	8,975	8,564
106	村上精密	6,829	6,592
107	大島加工	7,561	7,238

製品Ｂ

ＣＯ	依頼先名	依頼数	完成数
101	秋山金属	6,207	5,943
102	星製作所	7,012	6,830
103	サノ工業	7,140	6,984
104	ＳＫ産業	5,293	5,089
105	関西製作	8,105	7,682
106	村上精密	5,878	5,605
107	大島加工	6,510	6,153

＜諸費用の計算式＞

完成指数	諸費用
97以上	3×完成数
それ以外	2×完成数

＜判定表＞

判定の条件	判定
製品Ａと製品Ｂの両方とも33万以上の場合	X
製品Ａと製品Ｂのいずれかが33万以上の場合	Y
それ以外	Z

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような外注加工賃一覧表（製品Ａ）と（製品Ｂ）の２つの表を作成しなさい。
　　（ ――― の部分は空白とする）
２．完成指数＝完成数÷依頼数×100（整数未満切り上げ）
　　加工賃＝47×完成数
３．諸費用は＜諸費用の計算式＞を参照し、求めなさい。
　　支払額＝加工賃＋諸費用
４．合計を求めなさい。
５．＜出力形式２＞のような支払総額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
６．製品Ａ・製品Ｂは、それぞれの表の支払額を表検索しなさい。
７．奨励金＝（製品Ａ＋製品Ｂ）×5.7%（整数未満切り上げ）
　　支払総額＝製品Ａ＋製品Ｂ＋奨励金
８．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
９．合計を求めなさい。
10．支払総額の多い順に並べ替えなさい。
11．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12．支払総額一覧表の製品Ａと判定のセル証明をしなさい。
13．支払総額一覧表の製品Ａと製品Ｂの値を依頼先名別の積み上げ縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“依頼先別の集計グラフ”とし、凡例は“製品Ａ”、“製品Ｂ”とする。

＜出力形式１＞

外注加工賃一覧表（　　）

ＣＯ	依頼先名	依頼数	完成数	完成指数	加工賃	諸費用	支払額
（　途　中　省　略　）							
―	合　計			――			

＜出力形式２＞

支　払　総　額　一　覧　表

ＣＯ	依頼先名	製品Ａ	製品Ｂ	奨励金	支払総額	判定
（　途　中　省　略　）						
―	合　計					――

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）準１級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

商ＣＯ	商品名	原価	仕入数
11	Ｅ商品	2,770	2,121
12	Ｆ商品	2,890	1,940
13	Ｇ商品	2,650	2,309
14	Ｈ商品	2,990	2,053

※＜出力形式１＞で使用する。

販ＣＯ	商ＣＯ	販売数
101	11	705
101	12	780
101	13	738
101	14	620
102	11	879
102	12	522
102	13	830
102	14	783
103	11	576
103	12	663
103	13	751
103	14	698

※＜出力形式２＞で使用する。

＜見込利益率表＞

原価	見込利益率
2,900以上	25%
2,700以上　2,900未満	27%
1以上　2,700未満	29%

＜販売先テーブル＞

販ＣＯ	販売先名
101	山本商事
102	宝ストア
103	川村総業

＜値引率表＞

金額	値引率
280万以上	7.3%
240万以上　280万未満	6.5%
1以上　240万未満	5.7%

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
２．仕入額＝原価×仕入数
３．見込利益率は＜見込利益率表＞を参照し、求めなさい。（%表示とする）
　　定価＝原価×(1＋見込利益率)（10位未満切り上げ）
４．合計を求めなさい。
５．＜出力形式２＞のような販売額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
６．販売先名、商品名・定価はそれぞれ＜販売先テーブル＞、商品別仕入一覧表を表検索しなさい。
７．金額＝定価×販売数
８．値引率は＜値引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　値引額＝金額×値引率（整数未満切り上げ）　　販売額＝金額－値引額
９．販売数が830未満で販売額が230万以上に“＊”の評価をしなさい。
10．合計を求めなさい。
11．販売数の昇順に並べ替えなさい。
12．販売額一覧表を基に＜出力形式３＞のような処理をしなさい。
13．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
14．＜出力形式３＞の販売額を販売先名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“販売先別の比較”とし、凡例は“販売額”とする。

＜出力形式１＞

商　品　別　仕　入　一　覧　表

商ＣＯ	商品名	原価	仕入数	仕入額	見込利益率	定価
			（　途　中　省　略　）			
―――	合　計	―――			―――	―――

＜出力形式２＞

販　売　額　一　覧　表

販ＣＯ	販売先名	商ＣＯ	商品名	定価	販売数	金額	値引率	値引額	販売額	評価
				（　途　中　省　略　）						
―――	合　計	―――	―――	―――			―――			―――

＜出力形式３＞

販売先別集計表

販売先名	販売数	販売額
山本商事		
宝ストア		
川村総業		

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）１級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

得ＣＯ	商ＣＯ	販売数
101	11A	680
101	12B	1,000
101	13B	1,090
101	14A	1,200
102	11A	870
102	12B	1,020
102	13B	930
102	14A	1,310
103	11A	990
103	12B	1,530
103	13B	790
103	14A	1,010
104	11A	800
104	12B	830
104	13B	820
104	14A	1,450

＜得意先テーブル＞

得ＣＯ	得意先名
101	花井物産
102	成田商事
103	中島総業
104	田口商店

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品名	原価
11A	商品Ｅ	1,391
12B	商品Ｆ	1,486
13B	商品Ｇ	1,629
14A	商品Ｈ	1,745

＜値引率表＞

販売数	区分	
	A	B
1 以上　800 未満	6.3%	5.4%
800 以上　1,300 未満	6.7%	5.8%
1,300 以上	7.0%	6.0%

＜判定表＞

売価　　利益額	判定
2,000 以下　かつ　30 万以上	＊＊＊
2,000 以下　かつ　20 万以上　30 万未満	＊＊
それ以外	＊

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような販売額一覧表を作成しなさい。（ —— の部分は空白とする）
２．得意先名、商品名・原価はそれぞれ＜得意先テーブル＞、＜商品テーブル＞を表検索しなさい。
３．定価＝原価×1.26（整数未満切り上げ）
４．区分は、商ＣＯの右から１文字目とし、関数を使用し求めなさい。
５．値引率は＜値引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　売価＝定価×（1－値引率）（10 位未満切り捨て）　　販売額＝売価×販売数
　　利益額＝販売額－原価×販売数
６．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
７．合計を求めなさい。
８．＜出力形式１＞と同じ形式で商品名が商品Ｆ以外で利益額が 300,000 以下を抽出しなさい。
　　表題は“販売額一覧表（商品Ｆ以外・利益額 30 万円以下）”とし、利益額の昇順にソートしなさい。
９．販売額一覧表を基に＜出力形式２＞のような処理をしなさい。
10．販売額一覧表を基に＜出力形式３＞のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
11．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12．＜出力形式２＞の販売額を得意先名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“得意先別の販売額”とし、凡例は“販売額”とする。

＜出力形式１＞

販　売　額　一　覧　表

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	商品名	販売数	原価	定価	区分	値引率	売価	販売額	利益額	判定
（　途　中　省　略　）												
——	合　計	——	——		——	——	——	——	——			——

＜出力形式２＞

得意先別集計表

得意先名	販売数	販売額	利益額
花井物産			
成田商事			
中島総業			
田口商店			

＜出力形式３＞

得意先名が成田商事以外の販売数の合計	
販売数が 800 以上 1,000 未満の販売額の平均	
販売額が 200 万円以下で利益額が 20 万円以上の件数	

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１１５回（平成３０年１２月）情報処理技能検定試験（表計算）初段問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

商ＣＯ	仕入数
111	150
112	202
113	289
211	200
212	210
213	180
311	241
312	119
313	100

※＜出力形式１＞で使用。

商ＣＯ	得ＣＯ	売上数
111	1001	90
111	1002	54
112	1001	83
112	1002	102
113	1003	184
113	1004	101
211	1004	193
212	1001	64
212	1003	140
213	1002	165
311	1001	85
311	1004	149
312	1003	16
312	1004	96
313	1002	59
313	1003	32

※＜出力形式２＞で使用。

＜種別表＞

商ＣＯ	種別
100 番台	パイプ
200 番台	リング
300 番台	フラット

＜原価表＞

区分	サイズ	商ＣＯ		
		100 番台	200 番台	300 番台
11	Ａ４	640	550	480
12	Ｂ５	500	470	390
13	Ｂ４	890	840	650

＜利益率表＞

原価	区分		
	11	12	13
1 以上　500 未満	34%	32%	30%
500 以上	36%	38%	40%

＜掛率表＞

売上数	掛率
1 以上　90 未満	95%
90 以上 140 未満	93%
140 以上	90%

＜得意先テーブル＞

得ＣＯ	得意先名	前月請求額
1001	谷川文具店	365,000
1002	青空書店	418,000
1003	カワシマ	365,000
1004	未来創庫	375,000

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。（―― の部分は空白とする）
２．区分は商ＣＯを 100 で割った余りとする。
３．商品名は、種別・サイズの順に関数または演算子を使用して結合しなさい。ただし、間に“－”を入れること。
　　（例　パイプ－Ａ４）　※種別は＜種別表＞、サイズは＜原価表＞を参照する。
４．原価は＜原価表＞を参照し、求めなさい。　　仕入額＝原価×仕入数
５．定価＝原価×(1＋利益率)（整数未満四捨五入・関数使用）　※利益率は＜利益率表＞を参照する。
６．合計を求めなさい。
７．＜出力形式２＞のような売上一覧表を作成しなさい。（―― の部分は空白とする）
８．商品名は商品別仕入一覧表を表検索しなさい。
９．売価＝定価×掛率（10 位未満切り捨て）　※定価は商品別仕入一覧表、掛率は＜掛率表＞を参照する。
　　売上額＝売価×売上数　　利益額＝売上額－原価×売上数　※原価は商品別仕入一覧表を参照する。
10．合計を求めなさい。
11．売上一覧表を基に＜出力形式３＞のような得意先別請求額計算表を作成しなさい。（―― の部分は空白とする）
12．得意先名は＜得意先テーブル＞を表検索し、売上数・売上額は、基の表を集計する。
13．割引額は売上数が 380 以下かつ売上額が 30 万以上の場合、売上額×3.2%、それ以外は、売上額×2.8%とする。
　　（100 位未満切り上げ）
14．請求額＝売上額－割引額
15．前月比率＝請求額÷前月請求額（%の整数未満四捨五入の表示）　※前月請求額は＜得意先テーブル＞を参照する。
16．合計を求め、売上数の降順に並べ替えなさい。
17．売上一覧表を基に＜出力形式４＞のような処理をしなさい。
18．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
19．＜出力形式４＞のサイズ別の売上数を折れ線、売上額を縦棒にした複合グラフにしなさい。
　　タイトルは“サイズ別の比較”とし、凡例は“売上数”、“売上額”とする。

＜出力形式１＞

商品別仕入一覧表

商ＣＯ	区分	商品名	仕入数	原価	仕入額	定価
（　途　中　省　略　）						
――	――	合　計		――		――

＜出力形式２＞

売　上　一　覧　表

商ＣＯ	商品名	得ＣＯ	売上数	売価	売上額	利益額
（　途　中　省　略　）						
――	合　計	――		――		

＜出力形式３＞

得意先別請求額計算表

得ＣＯ	得意先名	売上数	売上額	割引額	請求額	前月比率
（　途　中　省　略　）						
――	合　計					――

＜出力形式４＞

サイズ別集計表

サイズ	売上数	売上額
Ａ４		
Ｂ５		
Ｂ４		